

ワークライフバランス

充実した制度と周囲のサポートで仕事と家庭を両立

産前産後休暇、育児休業制度、フレックスタイムなど各種制度により、職員の仕事と家庭の両立を実現する環境が整っています。



KENMOCHI SAORI 劔持 沙織

林野庁 企画課 年次報告班
経済分析係長

妊娠について職場に伝えると、温かく受け入れてくれたので、安心して働き続けることができました。産前産後休暇と育児休業を合わせて約1年半ほど取得し、復帰後は1時間の育児時間を取得して、早めに退庁しています。子供の保育園の送迎は夫婦で分担し、家事もできるほうがやることでやりくりしています。夫が出張で数日不在になるときはテレワークを利用して業務の時間を確保しています。仕事と生活の両立ができていているのは制度や職場の同僚・上司の理解や支えのおかげです。



KIKUCHI KOUTA 菊池 耕太

東北森林管理局 企画調整課
林政推進係長

出産時には、配偶者出産休暇を活用し、出産立ち会いや出生関係手続きを行いました。妻も職員であり、生後5ヶ月から妻が職場復帰し、私が1ヶ月間、育児休業を取得しました。育児休業の申請にあたっては、出産予定日の3~4ヶ月前から上司や同僚と相談し、休業時や復帰後の業務をサポートしてもらうことができました。育休からの復帰後は、妻も自分も遅くならないよう、メリハリをつけ、定時退庁するよう心がけていました。子を病院に連れて行くために看護休暇を取得することもありました。

研修制度

職員の資質の向上と職務遂行上必要な知識や技術の習得を目的に、体系的かつ実効性のある様々な研修を実施しています。そのため、入庁前に森林・林業の知識がない方でも、働きながらスキルを高めることができます。

新規採用 ————— 係員級 ————— 係長級 ————— 課長補佐級 —————>

新規採用研修

国家公務員としての意識を醸成し、必要な基礎知識を学ぶ。

基礎研修・OJT

森林の見方、育成、収穫などの実務的な知識や技術を学ぶ。

森林官養成科研修

森林官の業務に必要な知識や技術を学ぶ。

係長研修、補佐等研修など

各役職段階で求められるスキルを学ぶ。

業務研修

各職務に応じたより実践的な知識、技術、技能を習得する。

例：生産・販売、治山、林道、森林環境教育、高性能林業機械、無人航空機活用など